



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 トランス・コスモス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9715 URL <https://www.trans-cosmos.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役共同社長 (氏名) 牟田 正明
代表取締役共同社長 (氏名) 神谷 健志
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員本社管理統括 (氏名) 野口 誠 TEL 050-1748-0265
経理財務本部 担当
四半期報告書提出予定日 2024年2月5日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|-------|--------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 271,368 | △1.7 | 8,756 | △49.2 | 10,126 | △39.6 | 8,181 | △18.0 |
| 2023年3月期第3四半期 | 276,037 | 6.9 | 17,235 | △10.0 | 16,777 | △11.3 | 9,979 | △28.6 |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 10,007百万円 (18.6%) 2023年3月期第3四半期 8,436百万円 (△64.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 218.32 | 204.55 |
| 2023年3月期第3四半期 | 242.86 | 228.89 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 199,138 | 117,779 | 54.4 | 2,889.17 |
| 2023年3月期 | 193,842 | 112,381 | 53.4 | 2,761.61 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 108,266百万円 2023年3月期 103,486百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 117.00 | 117.00 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年3月期（予想） | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名） transcocos Asia Pacific Pte. Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期3Q | 48,794,046株 | 2023年3月期 | 48,794,046株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期3Q | 11,321,012株 | 2023年3月期 | 11,320,911株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年3月期3Q | 37,473,064株 | 2023年3月期3Q | 41,091,530株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は2024年1月31日（水）に当社ウェブサイトに掲載します。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (収益認識関係) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、経済社会活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しています。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格上昇、世界的な金融引締めに伴う為替市場への影響、中国経済の先行き懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループが展開するサービスを取り巻く環境は、生成AIやメタバースなど、進展するデジタル技術や長引く人手不足などを背景に、引き続き、アウトソーシングサービスに対する底堅い需要が続いています。特に、コロナ禍で再認識されたデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進やカスタマーエクスペリエンス（CX）の向上に向けた課題解決につながるサービスへの需要が高まっています。

このような状況の中、当社グループは、社会インフラとして積極的に展開してきた政府・自治体・民間企業が推進する新型コロナウイルス感染症対策に関連する業務支援が縮小したことによる業績への影響はあったものの、引き続き、拡大するサービス需要に向けて、お客様企業の経営、事業の変革を支援するCXサービス・BPOサービスを積極的に展開しました。また、本年度より始動した「新中期経営計画2023-2025」の各施策を推進しました。

事業モデルのプラットフォーム化の施策では、これまでさまざまな顧客接点チャネルのデータを収集・分析・活用するサービスを提供してきた独自のCXプラットフォーム「TCI-DX for Support」において、コンタクトセンター・SNS・チャットに蓄積されるVOC（Voice of Customer：顧客の声）を起点に、顧客体験上で経験するさまざまな顧客接点のデータを統合的に分析する技術を開発し、データ活用技術の特許を取得しました（特許番号：特許7319478号）。このデータ活用技術を用いることで、従来よりも分析にかかる時間を大幅に短縮、さらにはコミュニケーションチャネルを横断してユーザーが自己解決しやすい環境を提供し、総課題解決時間30%削減の実現を目指します。ユーザーの自己解決促進により企業のサポートコスト削減に寄与するとともに、抽出された課題をマーケティング活動に活かすことで売上拡大にも貢献します。

また、上場企業における2023年3月期以降の有価証券報告書上での人的資本情報開示義務化に伴い、人的資本情報を可視化する「HCMアナリティクスプラットフォーム」サービスの提供を開始しました。現状の可視化と継続的な情報収集・分析により、人的資本情報開示に伴うお客様企業の企業価値向上を支援します。さらに、温室効果ガスの排出量データ収集・算定を自動化する「GHG排出量算定ソリューション」サービスの提供を開始しました。既存のシステムからGHG排出量算定のためのデータを自動連携することにより、担当者のデータ収集・算定工数を大幅に削減します。

新規事業開発・R&D推進の施策では、主に生成AIとメタバースを活用したサービスの開発と推進に取り組みました。具体的には、顧客接点のデジタルフロントをすべてカバーする「TCI-DXサービス」の強化へ向けて、膨大なデータを高い精度で要約することや、自然な会話で応答することが可能なOpenAI社のChatGPTを活用したサービスの開発を推進しました。ChatGPTに代表される生成AIを効率よく、安心・安全に活用できるよう、独自のチューニング、学習手法、運用技術の開発を行い、デジタルコンタクトセンターサービスおよびデジタルマーケティングサービスの高度化を実現します。また、自社で提供しているサポートデスク支援ツール「Quick Support Cloud」に、生成AIを活用した「Quick Support Cloud with GAI」のサービス提供を開始しました。これにより、サポートデスク利用者が求めている回答を均一な品質で素早く提供することが可能となり、また、教師データ生成による人的工数削減、記載内容の安定化、処理時間の短縮も実現し、お客様企業の業務最適化を実現します。その他、企業の新たなコミュニケーションを創出するメタバース領域の取り組みとして、フォートナイトメタバース制作スタジオ「BORDER」とパートナーシップを締結し、ビジネス活用でも注目されるフォートナイト上での法人向けコンテンツの提供を開始しました。

グローバルの市場成長に応える体制強化に向けた施策では、中国において最先端の技術を用いたソフトウェア開発を行う天津霆客計算機信息技术有限公司（英語社名：TianJin Tinkers Computer Information Technology Co., Ltd.、以下、TINKERS）と資本業務提携を締結しました。トランスコスモスグループの大規模な開発力と運用力、TINKERSの最先端の技術力を融合し、お客様企業に最先端の技術を用いたソフトウェア開発を提供します。また、海外でのオペレーション体制の強化に向けてセンターを拡充しました。米国市場向けのニアショアサイトとしてメキシコに「メキシコシティセンター」、中国市場向けのコンタクトセンターサービスを提供するオペレーション拠点として「鄭州（ていしゅう）センター」、台湾市場向けのオペレーションセンターとして「致理（ちり）センター」をそれぞれ新設しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、単体サービスでのコロナ関連業務以外のサービスにおいて新規受注が拡大しましたが、コロナ関連業務の反動減の影響などで、売上高271,368百万円となり前年同期比1.7%の減収となりました。利益につきましては、単体サービスでのサービス進化、デジタル技術活用、グローバル拡大など中期成長に向けた先行的な投資を実施した影響などで、営業利益は8,756百万円となり前年同期比49.2%の減益、経常利益は10,126百万円となり前年同期比39.6%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,181百万円となり前年同期比18.0%の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、コロナ関連業務以外のサービスにおいて新規受注が拡大しましたが、コロナ関連業務の反動減や中期成長に向けた先行的な投資を実施した影響などで、売上高は177,632百万円と前年同期比3.1%の減収となり、セグメント利益は5,628百万円と前年同期比54.4%の減益となりました。

(国内関係会社)

国内関係会社につきましては、一部の上場子会社およびそのグループ会社の売上減少や収益性の低下などにより、売上高は31,742百万円と前年同期比0.8%の減収となり、セグメント利益は1,648百万円と前年同期比46.4%の減益となりました。

(海外関係会社)

海外関係会社につきましては、ASEAN子会社や韓国子会社における売上増加などにより、売上高は71,264百万円と前年同期比2.1%の増収となりました。一方、損益については、ASEAN子会社は引き続き収益性が向上したものの、韓国子会社において一部案件の業務量減少や人件費上昇、中国子会社の利益減少などにより、セグメント利益は1,473百万円と前年同期比20.4%の減益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5,296百万円増加し、199,138百万円となりました。このうち流動資産につきましては、8,368百万円増加し、143,792百万円となりました。この主な要因は、前期末の売上債権の回収や借入金の増加で、「現金及び預金」が増加したことによるものであります。固定資産につきましては、3,072百万円減少し、55,346百万円となりました。これは、保有上場株式の時価評価などにより「投資有価証券」が減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて102百万円減少し、81,358百万円となりました。この主な増減内容は、当社における「長期借入金」が増加したことや、「未払法人税等」が減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、5,398百万円増加し、117,779百万円となり、自己資本比率は54.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期については、引き続きお客様企業の売上拡大・コスト最適化といったニーズに対し、デジタルトランスフォーメーションパートナーとしてお客様企業の経営、事業の変革を支援するCXサービス・BPOサービスを積極的に展開し、さらにアジア市場を中心としたグローバルで事業展開を加速させていくことで、持続的な事業成長を実現することを目指します。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの2024年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 51,176 | 60,498 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 70,985 | 67,886 |
| 商品及び製品 | 4,825 | 5,475 |
| 仕掛品 | 196 | 337 |
| 貯蔵品 | 92 | 84 |
| その他 | 8,444 | 9,883 |
| 貸倒引当金 | △297 | △372 |
| 流動資産合計 | 135,423 | 143,792 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 6,652 | 6,720 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 7,779 | 7,246 |
| 土地 | 839 | 853 |
| その他（純額） | 1,279 | 1,118 |
| 有形固定資産合計 | 16,550 | 15,939 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 604 | 906 |
| ソフトウェア | 3,135 | 3,455 |
| その他 | 783 | 1,064 |
| 無形固定資産合計 | 4,523 | 5,426 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,111 | 5,101 |
| 関係会社株式 | 10,718 | 12,034 |
| 関係会社出資金 | 1,442 | 1,674 |
| 繰延税金資産 | 5,305 | 3,129 |
| 差入保証金 | 10,456 | 10,958 |
| その他 | 1,644 | 1,419 |
| 貸倒引当金 | △333 | △336 |
| 投資その他の資産合計 | 37,345 | 33,980 |
| 固定資産合計 | 58,419 | 55,346 |
| 資産合計 | 193,842 | 199,138 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 16,230 | 14,357 |
| 短期借入金 | 1,629 | 116 |
| 1年内償還予定の社債 | 79 | 75 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,060 | 2,065 |
| 未払金 | 7,785 | 6,593 |
| 未払費用 | 18,918 | 21,562 |
| 未払法人税等 | 4,849 | 892 |
| 未払消費税等 | 4,601 | 5,475 |
| 賞与引当金 | 6,233 | 3,851 |
| その他 | 4,046 | 8,048 |
| 流動負債合計 | 66,433 | 63,039 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 194 | 153 |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 10,074 | 10,059 |
| 長期借入金 | 2,222 | 6,227 |
| 退職給付に係る負債 | 402 | 410 |
| その他 | 2,133 | 1,468 |
| 固定負債合計 | 15,027 | 18,319 |
| 負債合計 | 81,461 | 81,358 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 29,065 | 29,065 |
| 資本剰余金 | 19,330 | 19,331 |
| 利益剰余金 | 77,739 | 81,536 |
| 自己株式 | △28,567 | △28,567 |
| 株主資本合計 | 97,568 | 101,366 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,452 | 850 |
| 為替換算調整勘定 | 3,464 | 6,048 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,917 | 6,899 |
| 新株予約権 | 3 | 3 |
| 非支配株主持分 | 8,892 | 9,510 |
| 純資産合計 | 112,381 | 117,779 |
| 負債純資産合計 | 193,842 | 199,138 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 276,037 | 271,368 |
| 売上原価 | 219,561 | 220,914 |
| 売上総利益 | 56,476 | 50,454 |
| 販売費及び一般管理費 | 39,240 | 41,697 |
| 営業利益 | 17,235 | 8,756 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 117 | 181 |
| 受取配当金 | 41 | 23 |
| 持分法による投資利益 | — | 615 |
| 為替差益 | 161 | 344 |
| その他 | 388 | 454 |
| 営業外収益合計 | 710 | 1,620 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 59 | 109 |
| 持分法による投資損失 | 940 | — |
| その他 | 168 | 141 |
| 営業外費用合計 | 1,168 | 250 |
| 経常利益 | 16,777 | 10,126 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 329 | 3,171 |
| 関係会社株式売却益 | 373 | — |
| 持分変動利益 | — | 81 |
| その他 | 73 | 46 |
| 特別利益合計 | 776 | 3,300 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 175 | 41 |
| 投資有価証券評価損 | 16 | 164 |
| 関係会社清算損 | — | 93 |
| 持分変動損失 | 141 | — |
| その他 | 31 | 33 |
| 特別損失合計 | 365 | 333 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 17,188 | 13,093 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,006 | 1,740 |
| 法人税等調整額 | 1,288 | 2,358 |
| 法人税等合計 | 6,295 | 4,098 |
| 四半期純利益 | 10,893 | 8,994 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 913 | 813 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 9,979 | 8,181 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 10,893 | 8,994 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6,671 | △1,601 |
| 為替換算調整勘定 | 2,979 | 1,659 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1,234 | 955 |
| その他の包括利益合計 | △2,457 | 1,012 |
| 四半期包括利益 | 8,436 | 10,007 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 7,486 | 9,163 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 949 | 843 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|--------------------|---------|--------|--------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 単体サービス | 国内関係会社 | 海外関係会社 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 182,551 | 27,022 | 66,463 | 276,037 | — | 276,037 |
| セグメント間の内部売上高または振替高 | 803 | 4,990 | 3,322 | 9,116 | △9,116 | — |
| 計 | 183,355 | 32,013 | 69,785 | 285,154 | △9,116 | 276,037 |
| セグメント利益 | 12,334 | 3,074 | 1,849 | 17,258 | △23 | 17,235 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|--------------------|---------|--------|--------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 単体サービス | 国内関係会社 | 海外関係会社 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 176,819 | 26,642 | 67,907 | 271,368 | — | 271,368 |
| セグメント間の内部売上高または振替高 | 812 | 5,100 | 3,357 | 9,271 | △9,271 | — |
| 計 | 177,632 | 31,742 | 71,264 | 280,640 | △9,271 | 271,368 |
| セグメント利益 | 5,628 | 1,648 | 1,473 | 8,749 | 7 | 8,756 |

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|---------------|---------|--------|--------|---------|
| | 単体サービス | 国内関係会社 | 海外関係会社 | |
| 日本 | 180,344 | 26,996 | 3,441 | 210,782 |
| 韓国 | 9 | — | 28,274 | 28,284 |
| 中国 | 82 | — | 21,369 | 21,452 |
| 東南アジア | 1,566 | 2 | 9,116 | 10,685 |
| その他 | 549 | 23 | 4,261 | 4,833 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 182,551 | 27,022 | 66,463 | 276,037 |
| その他の収益 | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 182,551 | 27,022 | 66,463 | 276,037 |

(注) 顧客との契約から生じる収益は、顧客の所在地を基礎として、国または地域に分解しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|---------------|---------|--------|--------|---------|
| | 単体サービス | 国内関係会社 | 海外関係会社 | |
| 日本 | 174,295 | 26,636 | 3,667 | 204,598 |
| 韓国 | 0 | — | 29,073 | 29,073 |
| 中国 | 113 | 1 | 19,521 | 19,636 |
| 東南アジア | 1,541 | 2 | 11,396 | 12,941 |
| その他 | 868 | 1 | 4,248 | 5,118 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 176,819 | 26,642 | 67,907 | 271,368 |
| その他の収益 | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 176,819 | 26,642 | 67,907 | 271,368 |

(注) 顧客との契約から生じる収益は、顧客の所在地を基礎として、国または地域に分解しております。